



- 1面 フェスティバル募集、団体交流会開催報告
- 2面 インターンシップ実習生報告
- 3面 NPOの現場から、他
- 4面 団体紹介、お知らせ他

発行 こくぶんじ市民活動センター  
発行日 平成24年10月1日

## 第7回 市民活動フェスティバル 出展団体(実行委員)さん**大募集!**

開催日:平成25年4月21日(日)  
会場:ひかりプラザ 申込締切り:10月15日(月)

市民活動フェスティバルは団体のPRの場、団体同士や市民との交流の場、市民の方に市民活動を知って頂く場です。年々参加団体も増え様々な企画で、幅広い年齢層の方にご来場いただいています。今回も出展団体の皆さんによる**実行委員会形式**で企画・運営します。一緒にフェスティバルを盛り上げていきましょう。団体活動をPRするよい機会です。多くの団体のご参加をお待ちしております。

第一回実行委員会は10月31日(水)18:00~19:30開催

### 申し込み方法

出展を希望される団体は、メール・電話・FAXまたは直接センターに  
**団体名 連絡者名 連絡先**をお知らせください。

出展できるのは、センター利用登録団体で、事前の打合せに参加できる団体です。

### 団体交流会を開催しました!

第1回団体交流会を8月31日(金)市役所内プレハブ第一会議室で開催し、19団体の方にご参加いただきました。第6回市民活動フェスティバルの写真上映会や、参加団体の紹介、意見交換、今後の団体交流会のあり方など、初参加の団体が多かったこともあり、団体間の意見交換が活発に行われました。

第2回団体交流会を9月27日(木)本町・南町地域センターで開催しました。当日は「団体活動&会員拡大大作戦」と題して、ワークショップと事例紹介を行いました。詳細は近日中にホームページへアップする予定です。



**インターンシップで、東京経済大学経営学部流通マーケティング学科3年  
中内優樹さんと、駿河台大学法学部2年柴山勇輔さんが協働コミュニティ課  
・こくぶんじ市民活動センターに来られました！**

こんにちは。今回、東京経済大学が国分寺で活動する活動団体と連携して行う地域インターンシップ活動に参加し、国分寺市役所の協働コミュニティ課にて学ばせていただきました、中内と申します。手前が私です。

インターンシップ活動とは学生の身でありながら就労体験を積むことのできる活動です。参加を機に大きく成長するために、よく聞こえる声を出すことや簡潔でわかりやすい話し方をすること、丁寧な言葉遣いで事を言えるようにする等の課題点を前もって準備してから活動に臨んだのですが、インターン終了時に残っていた課題の数は開始時以上になっていました。

声を大きくするには自信をもつことが必要であることや伝わりやすい話し方をするにはそれに関する知識の量が重要であること等、課題に付随する新たな課題が見つかったりそれはやはり、インターン活動で得られた経験が私の日常からかけ離れたものであり、違う角度から自分を見ることができたからだと思います。



また、丁寧な言葉遣いや失礼のない立ち振る舞い等の社会人としての基本から、良い意見の出し方や共同作業においての他人への気遣い方等々、「普段練習することは難しいが上達していなければならぬこと」ととりかかることができたことは非常に良い経験となりました。想定や予行練習ではやはり限界があるもので、実際に行ってみて良い点悪い点が浮き彫りとなったと感じます。就職活動中盤にさしかかる辺りで本番さながらの空気を味わいながら自分の現在の実力を確認できたというのはなかなか出来ない経験であり、重要なことであったと感じます。

数々のご迷惑をかける10日間となりましたが、私たちを受け入れてくださりまして、ありがとうございました。市役所職員の方々をはじめとする多くの活動団体の方々に感謝いたします。ご指導して頂いた多くの方々の期待に応えられるようこれからも努力して参りたいと思います。(中内優樹)

私は地域インターンシップという授業で10日間国分寺市役所でお世話になりました、埼玉県駿河台大学法学部2年の柴山勇輔です。

前半の6日間私は国分寺市役所の協働コミュニティ課の市民活動センターで市民活動団体について学びました。2日目と3日目は実際に団体の活動場所や事務所を訪れて団体の話を聴くというとても貴重な体験しました。また市役所内では、市民活動団体のための助成金の事や、市民活動センターの事について調べました。

私が一番心に残っていることは、直接意見交換を行う「団体交流会」の運営をお手伝いしたことです。普段会うことのない団体同士が意見を交換し合っている姿を見て「いろいろな意見が出てすごいな」と心から思いました。後半の3日間はコミュニティ推進係でお世話になりました。



行ったことは自治体・町内会が無い地域に「実際に自治体をやってみませんか？」というチラシづくりをしました。チラシづくりの参考のために地域センターも訪れることもできました。自治会・町内会がない地域のみなさんに私たちが作ったチラシをみて「自治会を作りたいな」と思っていただけで嬉しかったです。

協働コミュニティ課で実習をしてみて、私が知らない市役所というものを知ることができました。そしてさらに市役所で働きたいと思う事ができました。

10日間という短い期間でしたが、ものすごく勉強になりました。これを活かして頑張っていきたいです。国分寺市役所のみなさん市民活動団体のみなさん本当にありがとうございました。(柴山勇輔)

国分寺市を拠点とする  
NPOの活動取材録

第31回 ~地域の中で一緒に働く場をつくる~  
NPO法人 国障連喫茶

シリーズ・NPOの現場から

今回は本多公民館の「喫茶ほんだ」を訪ね、施設長をされている小林さんに会の発足の経緯や日々どんな思いで活動されているか、お話を伺いました。

ひかりプラザの「喫茶こだま」・本多公民館の「喫茶ほんだ」。この二つを運営しているのが、NPO法人国障連喫茶です。この二つの喫茶は、国分寺障害者団体連絡協議会(国障連)が、障害者に働ける場をとの思いから、平成6年の、ひかりプラザ開館とともに「喫茶こだま」が、平成11年に「喫茶ほんだ」がスタートし、同時に東京都の最低賃金を支給することにしました。

平成22年6月より、国分寺市の委託事業「地域活動支援センターほんだ・こだま」として運営しています。現在、在籍している従業員(利用者)は15名で、知的・身体・精神と障害に一人ひとり違いはありますが、それぞれの個性に応じた働き方をしています。その従業員たちと共に働くスタッフの方々は、喫茶の仕事だけでなく従業員たちを支えていくという事もあり、仕事量はかなりハードです。しかし、従業員の一人ひとりそれぞれを受け入れながら温かく見守り一緒に働いています。賃金に関しても従業員とスタッフは、基本的には同じです。これは誰かの役に立てればというボランティア精神が無ければできないことです。このようなスタッフたちの気持ちが従業員にも伝わり、喫茶で接客することが「人の役に立っている、人の役に立ちたい」という意識につながっていきます。そして接客を通して社会性も育んでいきます。



スタート当初のスタッフは障害者の親たちでした。しかし、今は一人だけで、他の方はこの様な体制の支援に理解のある市民の方々です。また、様々なイベントでお弁当の注文を受けたり、自家栽培の野菜の提供があります。「喫茶ほんだ」では、公民館と共催で「おしゃべり茶話会」や「ロビーコンサート」を開催するなど地域の方々のたくさんの協力を得て、地域の中で「喫茶こだま・ほんだ」は続いてきました。二つの喫茶は、地域の方が利用する市の施設で運営していることにより、お客様である地域の方々に自然に接してもらえるようになったという大きな収穫がありました。このように地域の中に受け入れられて安心して働けることは、従業員たちにとって社会に出ていく自信に結びついています。たくさんのお客様とふれあい、「がんばってるね」「おいしかったよ」と声をかけられ、嬉しそうにしている従業員たちは「人の役に立てた」と実感し、目に見えない評価として受け止めます。

こうした経験が自信となって一般就労へ移った方が、職場での成果を報告に来ることもあるとのこと。その話をされた小林施設長のお顔はとっても嬉しそうでした。

障害がある方が働く・社会に出て行くというのは、その本人にとっても大変勇気がいることだそうです。一歩ずつ社会へと出ていく従業員たちやそれをサポートするスタッフたち、『常に前を見て進む!』という皆さんの、強い思いを感じた取材でした。

連絡先:NPO 法人国障連喫茶 TEL: 042-323-2001

(取材:江利川・小林)



団体ヒアリング  
進行中



市民活動センターでは、6月末より各団体の事務所や活動現場におじゃまして、団体の活動状況や課題などについてヒアリングを行っています。お蔭さまでこれまで十数団体を訪問し、会の代表の方をはじめ、スタッフの方や会員の方とも意見交換をさせていただきました。

今年度中に、ご登録をいただいている全ての団体にお話を伺うことは難しいかと思いますが、引き続き日程等を調整しながら、出来るだけ多くの団体を訪問し、ヒアリングを実施したいと考えています。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。(協働推進係長 増本)

## 団体紹介コーナー

団体紹介  
随時募集中!

### マジックサークル 木曜会

～マジックを楽しみながら、ボランティア活動を通じて元気な地域交流に勤めています～

マジックサークル木曜会は、楽しい趣味の会として平成16年4月発足し、現在9年目に入りました。

会の趣旨は、マジックを通じて明るく、楽しく生きることを目指し、多くの方々と喜びを分かち合うべく、可能な範囲で研鑽を重ね、会員の健康維持と相互の親睦を深めながら、習得した技術を地域の皆さんに見て頂き共に活動していくことを目的としています。

毎月第1木曜日、講師として来て下さる庄司タカヒト先生(NHK学園先生)は毎回2時間、熱心に分かり易く教えて下さいます。

ボランティア活動も盛んで、主に第1・第3木曜日の午後は市内及び近隣各市の老人ホーム、福祉施設、学童クラブ、幼・保育園、地区会などの約束場所に1班4～5名ずつ、2班編成で出掛け、年間40回以上を目標に活動しています。

例会・練習会：毎月第1・第3木曜、AM9:50～12:00

場所：国分寺労政会館(国分寺駅南口、歩5分)

会員数：21名(男性17名・女性4名)、年齢40～70代



初心者・女性の  
入会も歓迎!  
入会後の月会費は  
1,000円です

<連絡先>

電話及びFAX：042-323-5972(柏原)

Email：h-kasiwa@abox23.so-net.jp

### 編集後記

今年もセンターにインターンシップ実習生が来てくれました。短い期間でしたが、学生のお二人と“出会い”があり、スタッフも刺激を受けることができました。いよいよ今月から、市民活動フェスティバルの実行委員会が始動します。初参加も大歓迎です! 実行委員会での“出会い”も楽しみにしています。(しろ)

発行・編集 こくぶんじ市民活動センター(国分寺市役所 協働コミュニティ課)

〒185-8501 東京都国分寺市戸倉1-6-1 第三庁舎1階

042-208-3636 / Fax 04 b2-208-3637

e-mail kccpc@jcom.home.ne.jp

http://www.collabo-kokubunji.com/

開館時間 平日9:00～17:00(ただし年末年始を除く)

平成24年10月1日発行



## お知らせ



センター登録団体情報冊子が出来ました  
お待たせしました!平成24年度版の登録団体情報冊子ができました。今回は、巻末に団体活動等PR文も掲載しています。ホームページの団体検索と併せてご活用ください。

冊子は市民活動センターで配布しています。

HPイベントコーナーをご利用ください

リニューアルしたセンターのホームページに、新しくイベントカレンダーが表示されています。イベントの行われる日にマークが付いて、スケジュールが見やすくなっています。

センターのホームページで団体の行うイベントをPRされる場合は、詳細がわかる資料をメールもしくは直接ご持参いただければ、掲載いたします。ご利用お待ちしております!



## センター長通信

今夏は、猛暑日や「ゲリラ豪雨」の発生など日本列島は記録づくめとなりました。「こらば」が皆様の手に届くころには涼くなっているのでしょうか。

さて、今月は「地域のひろば」が始まります。「災害時の地域の支えあい」をテーマに、市の役割、地域の役割について地域の皆さんと意見交換を行います。市では多様な形態の協働を推進していますが、「地域のひろば」は市と市民が地域の課題解決という同じ目標に向かって取り組む、市と個人との協働です。団体の皆さんの意見も是非お聞かせください。詳細についてはチラシをご覧ください。

発行・編集 こくぶんじ市民活動センター(国分寺市役所 協働コミュニティ課)

〒185-8501 東京都国分寺市戸倉1-6-1 第三庁舎1階

042-208-3636 / Fax 04 b2-208-3637

e-mail kccpc@jcom.home.ne.jp

http://www.collabo-kokubunji.com/

開館時間 平日9:00～17:00(ただし年末年始を除く)

平成24年10月1日発行

